

令和8年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

中学校 社会科

改善の重点

- ① 単元で育成を目指す資質・能力を明確にし、課題を追究したり解決したりする活動を重視した「深い学び」の実現に繋げる単元の指導計画を構想すること。
- ② 「B おおむね満足できる状況」と判断する生徒の姿を想定し、生徒の学習状況を見取る形成的評価を工夫することで、資質・能力の育成につなげること。

1 設定理由

社会科の学習では、主体的・対話的で深い学びの実現や、主権者として持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養の観点から、単元を見通して学習課題を設定し、課題を追究したり解決したりする活動の一層の充実が求められている。そのためには、教師が育成を目指す資質・能力を明確にし、生徒が社会的事象から学習課題を見だし、解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、結果をまとめ、自らの学びを振り返ったり新たな課題を見いだしたりする一連の学習過程（上記イメージ参照）を充実させることが不可欠である。その際、社会的な見方・考え方を働かせ、個別の知識を相互に関連付け、統合して理解するなど、「深い学び」を実現する単元の指導計画を構想することが重要である。あわせて、細かな事象を網羅的に扱う学習にならないよう、指導内容を厳選することも求められる。

社会科における学習過程のイメージ



「社会科、地理歴史科、公民科における学習過程のイメージ」 Study Styleをもちに作成

また、育成すべき資質・能力を確実に身に付けさせるためには、生徒の学習状況を見取る形成的評価が重要である。そのために、各時間の「B おおむね満足できる状況」と判断する生徒の具体的な姿を想定した評価規準を設定し、学習活動の様子や生徒の記述など、評価の場面や方法の工夫が必要となる。そして、「身に付けさせたい力が付いているかどうか」という生徒の学習状況を確実に捉え、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成につなげることが大切である。

2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下の点に留意すること。

- ① 学習指導案には、「単元を見通した学習課題」及び、その追究した「学習課題に対するまとめや振り返り」に加え、「B おおむね満足できる状況」と判断する生徒の具体的な姿を想定した評価規準等を整理した「単元の指導と評価の計画」を必ず記載すること。
- ② 全ての生徒を「B おおむね満足できる状況」まで到達させるため、「C 努力を要する状況」にある生徒への具体的な支援の手立てを想定すること。

(2) 参考とすべき資料

- ① 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）
- ② 早わかり！単元計画の作成手順（大分県教育庁義務教育課 Web サイト）
- ③ 社会科単元計画例（大分県教育庁義務教育課 Web サイト）